

議会だより

12月定例会 No.22
平成23年2月1日

発行 石川県志賀町議会

ししか

町長に成績証明書の提示を求める動議を可決…	3
議員定数2人削減、報酬も10%カット	
次回選挙から16人に ……………	4
議員2人減 どれだけ経費削減? ……………	6
沿道に咲かせます 大輪の華 (グループ紹介きらら華小町) …	16



議員定数の削減は 2人削減か、3人削減か 2議案を審議

(詳しくは4・5ページをご覧ください)



本定例会では議員定数の削減について議論が交わされた。(写真は本会議で町政一般質問をする議員)

12月定例会は、11月30日から12月10日まで11日間の会期で開かれました。

町長提出議案では、一般会計補正予算のほか、各会計補正予算、条例の一部改正、人権擁護委員の諮問など13件を審議し、すべて全会一致で可決しました。

この定例会では、議員定数を16人と定める議会議員定数条例の制定、議員報酬を10%削減するための条例の改正などの議員提出議案3件を可決、請願1件を採択、2件を不採択とし、意見書2件を可決しました。また、県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙が指名推選で行われ、田中正文議員が当選しました。

町政一般質問では、3議員が登壇し、町長の考えをたどりました。

議員・特別職の期末手当を年間0・15カ月引き下げ

人事院勧告に準じ、議員の期末手当の支給率を年間3・05カ月から0・15カ月引き下げ、2・9カ月としました。(全員賛成)

町職員の期末勤勉手当0・2カ月の引き下げ

中高年齢層の一般職の職員の給料月額を平均0・1%引き上げ、期末勤勉手当の支給割合を年間0・2カ月引き下げました。

町長・副町長・教育長の特別職の期末手当も同様の引き下げをしました。(全員賛成)

(全員賛成)

更に、55歳を超える管理職について、当分の間、給与水準の是正を図るため、給料月額等の1・5%を減額しました。(全員賛成)

(全員賛成)

人権擁護委員 2人を推薦

任期満了となる人権擁護委員に三津幸子さん(再任)、村上栄子さん(新任)の推薦が諮問され、適任として答申しました。

(全員賛成)



村上 栄子さん
(富来領家町)



三津 幸子さん
(大島)

小泉町長にウッドジュニアカレッジ大学の成績証明書の提出を求める動議

賛成9 反対5

可決

12月3日の本会議で、小泉町長の最終学歴に係る報道についての一般質問をした越後敏明議員から、米国ウッドジュニアカレッジの成績証明書の提出を求める動議が出され、賛成多数で可決されました。

動議の提案理由

越後 敏明議員

この問題が、長引くことは町民にとって、大変な不名誉なことであり、1日も早く疑惑の解決を望む。

町長からは成績証明書の提示について、答弁いただけなかった。

町長は公人として疑惑の解決のためにも、成績証明書を提示することが、町長の責務だと思いつ。

議会として、町長に成績証明書の提出を求めることを要求する。

平成22年度一般会計補正予算

10億6624万円増額

長期債元金の繰上償還、財政調整基金積立金など

22年度各会計別補正後の総額

一般会計	138億6,870万円	
国保	28億2,398万円	
老人保健	441万円	
後期高齢者医療	3億1,803万円	
農業集落配水	8億4,395万円	
公共下水道	7億9,628万円	
地域し尿	3,970万円	
介護保険	24億9,188万円	
ケーブルテレビ	2億5,944万円	
町立診療所	2億964万円	
簡易水道	1,771万円	
水道	収益的収支	6億1,749万円
	資本的収支	5億2,170万円
病院	収益的収支	11億8,433万円
	資本的収支	2億1,712万円

(金額は1万円未満切り捨て)

22年度の一般会計補正予算は、歳入では、税の確定による町税の増額および長期債繰り上げ償還のための減債基金の繰入が主なもの。

歳出では、人事院勧告に準じた職員給与費等の減額や各事業の確定および精算見込みに伴う事業費の減額、また、長期債元金の繰上償還などを追加。

歳入歳出それぞれ10億6624万円を増額、総額138億6870万円となりました。

一般会計主な歳出

地区自治振興事業補助金	6500万円
漁業振興助成金	1億3355万円
財政調整基金積立金	8594万円
長期債償還元金	6億3024万円
障害者自立支援給付費	2960万円
石川県海岸漂着物地域対策推進事業	2960万円

県後期高齢者医療 広域連合議会議員

前任の戸坂忠寸計議員の連合議会議員の辞職に伴い、選挙を行いました。

選挙は指名推選で行われ、田中正文議員が当選しました。

(全員賛成)



田中 正文 議員

次回選挙から

16人に 決定

12月定例会の会期中、稲村 幸雄議員他8名から「議員定数の2人削減」と「議員報酬10%カット」を提案する議案、久木 拓栄議員他6名から「議員定数の3人削減」を提案する議案が、それぞれ提出されました。

定例会最終日の12月10日、それぞれ提出者から提案理由説明があり、3人の議員による討論の末、議員定数2人削減、議員報酬を10%カットする案が、それぞれ9対6の賛成多数で可決されました。

「議員定数を3人削減」する案は、※一事不再議の原則により、議決不要の取扱いとなりました。

議員定数 議員報酬

2人削減 10%削減

提出者
賛成者

稲村 幸雄
下池外巳造
松浦 恒義
小田 芳治
林 一夫
戸坂忠寸計
富澤 軒康
越後 敏明
橘 照茂

提案理由

町では行財政改革が求められている状況であり、議会も自ら取り組まなければならぬ。

議員歳費の削減も重要な課題だが、大幅な議員の減員による歳費の削減には弊害もある。

合併5年が経過し、町内全域での一体化が進められているが、新町では行政として対応すべき面積も大変広く、旧校下単

位での要望活動等も行われている。地域住民の代表者として、地域事情にも詳しい議員の存在も、町民福祉の維持には重要である。

当町の議会は委員会主義を採用しており、少数の議会では、委員会審議にも支障が生じ、同時に議会活動全体への悪影響も懸念される。

このような観点から、行財政改革の一環として議員報酬の一律10%程度の削減の提案と併せて、議員定数を16名とする提案を行うものである。

併せて、志賀町の常勤特別職の報酬、退職金等についても、条例変更されるよう求める。

討

論

※一事不再議の原則
議会で一度議決した案件と同じ内容の案件については、その会期中に再び審議しないことを「一事不再議の原則」といいます。

2人削減案に反対

南 政夫 議員

議員定数の削減を求める請願を不採択したばかりの皆さんが、なぜ、性急に同様の趣旨である議員定数削減案を提出したのか、大変疑問に思う。

当町の町債（町の借金）残高は約361億円。志賀原発の固定資産税も減少の一端をたどる。議員に係る経費は少しでも削減し、財政負担の軽減を図るべきである。

人口規模で、当町を上回る羽咋市よりも多い16人の議員が必要なのかは、はなはだ疑問。

議員定数の削減に際し

では、常に民意の反映が十分になされるかといった点が論点となるが、タウンミーティング、町長談話室など行政自身が住民に直接意見を聞く機会を設けており、住民の町政への参加手段も多様化している。

今後は、単純に議員の数が多ければ、より多くの民意が反映されるといふことにはならない。
2人削減では、現在の社会経済状況や近隣市町の状態を勘案すると、賛同できない。

議員定数2人削減 議員報酬額を10%カット

賛成9、反対6 **可決**

木村正男議員は欠席。田中正文議長は、議長のため採決に加わらず。

議員定数

3人削減

提出者 久木 拓栄
賛成者 須磨 隆正
桜井 俊一

同 南 政夫
同 山本 辰栄
同 木村 正男
同 寺岡真貴子

提案理由

今日、激動する国内外の経済情勢の中で、日本経済は勿論、石川県民、志賀町民の生活は、大変厳しい状況下にある。当町でも、著しい少子高齢化の進展への対応、雇用対策など新たな行政需要が生じている中、長引く景気低迷の影響により、今後、大きな税収の増加は見込めず、大変厳しい財政状況にある。我々、町民の代表として選出された議員は、この困難な状況を改善すべ

く、多くの住民の声を聞きながら、町民とともに力を合わせ、新たな発想を持って、その先頭に立ち行動しなければならぬ。

県内の各市町議会の多くは、合併後2回目の改選時に議員定数が削減されており、本町においても、議員定数を削減すべきだとの住民の声が多いのも事実である。

今日の厳しい財政状況の中に、大変に苦勞している町民に対して、議会自らが議員の定数を削減し、少数精鋭主義の議会として、姿勢を正すべきだと考え、議員定数を15人とすることを提案する。

3人削減案に賛成

山本 辰栄 議員

議員定数の見直しを求める請願、タウンミーティングでの住民の意見、今後の将来性を考慮すると、議員定数の削減は避けて通れない。

議員の削減は少数意見が町政に反映されないとの懸念もあるが、議員一人ひとりが、これまで以上に議員活動を充実させ、議会が単なる執行機関の

チェック、承認機能でなく、政策立案能力を高めることで、町民の負託に答えていくべきと考える。

今回の議員定数削減の提案は、単に、議会が行政改革に協力するのではなく、「議員を削減せよ」という町民の声を真摯に受け止め、今後の議会機能の再構築と、議員の資質向上を目指す議会改革の第一歩と捉えるべきである。

議員報酬削減に反対

久木 拓栄 議員

県下、どの市町村を眺めても、この時期に議員報酬の改正はない。結論から言うと、これは単なる来年春の選挙向けのパフォーマンスじゃないかと強く批判する。

当町は県下で唯一の原発立地町であり、今日まで、町民の安全安心を第一に考え、みんなが精いっぱいやってきた。

隣の羽咋市の議員報酬は34万円であり、この議案が通過すれば当町は23万円になる。なぜ、市と町との隔たりが、こんなにあるのかといつも言っている。

我々は、命をかけて選挙し、町民の幸せを願って、懸命にやっているつもりである。よって、それ相当の報酬が必要かと思っている。大きなことは言わないが、最小限、現状維持を求める。

議員定数18人→16人

議員報酬10%カットで

どれだけの経費削減になるの？

●議員定数18人、報酬が現行の場合

区分	議員報酬月額
議長	315,000円
副議長	271,000円
議員	255,000円

議員報酬及び期末手当

議長 315,000円×12月+315,000円
×1.15×2.9月=4,830,525円 ①

副議長 271,000円×12月+271,000円
×1.15×2.9月=4,155,785円 ②

議員 255,000円×12月+255,000円
×1.15×2.9月=3,910,425円

3,910,425円×16人=62,566,800円 ③

合計 ①+②+③=71,553,110円 ④

議員共済会負担金

42,900円×18人×12月=9,266,400円 ⑤

議員報酬、期末手当、議員共済負担金の合計

④+⑤=80,819,510円



●議員定数16人、報酬を10%カット (平成23年6月1日から適用)

区分	議員報酬月額
議長	284,000円
副議長	244,000円
議員	230,000円

議員報酬及び期末手当

議長 284,000円×12月+284,000円
×1.15×2.9月=4,355,140円 ①

副議長 244,000円×12月+244,000円
×1.15×2.9月=3,741,740円 ②

議員 230,000円×12月+230,000円
×1.15×2.9月=3,527,050円

3,527,050円×14人=49,378,700円 ③

合計 ①+②+③=57,475,580円 ④

議員共済会負担金

37,950円×16人×12月=7,286,400円 ⑤

議員報酬、期末手当、議員共済負担金の合計

④+⑤=64,761,980円

削減効果は年間1605万円以上

議員18人の議員報酬、期末手当、共済会負担金の合計が約8081万円。

議員16人、議員報酬10%カットで計算した合計は約6476万円。

その差、1年間で1605万円、4年間で6420万円の削減効果があります。

また、視察研修に要する経費やその他の経費でも経費削減が見込まれます。

※当町の議会議員の新任期は平成23年6月1日からですが、対比のため12カ月で計算した合計。

議員共済会負担金は現行の制度で計算していますが、議員報酬額の引き下げにより負担金の額も下がります。

議員定数削減に係る請願 委員会採決は不採択

賛成 4 反対 9

主な経過

○9月6日 志賀町議会議員定数の削減に係る請願書が提出される。

○9月15日 第3回定例会で、議長を除く全議員で構成する議員定数検討特別委員会を設置し、請願を付託。正副委員長の互選。

○10月5日

第1回の特別委員会を開催、検討。

○10月15日

議長をオブザーバーとして、正副委員長が、商工会、農協、漁協、区長会、老人会、女性団体連絡協議会、青年団協議会の各種団体の代表との意見交換会を2回に分けて開催。

○10月27日

第2回の委員会開催。

○11月22日

第3回の委員会開催。委員会で採決を実施。賛成4、反対9、(欠席2)で不採択とすべきものと決した。(委員長は採決に加わりません)

○12月10日

第4回定例会本会議で委員長報告。採決は、賛成6、反対9、(欠席1)で不採択。(議長は採決に加わりません)

委員長報告要旨

議員定数検討特別委員会

委員長 山本 辰栄

請願に対する委員の意見は、賛否両論の意見があった。

民意の尊重、近隣市町の削減状況、議会費の削減、行財政改革などを理由とした定数削減に賛成する意見があった。

その一方で、面積や地区数、行政への民意の反映、他市町との議会費の比較などを理由とした定数削減には反対する意見があった。

その他、行財政改革、議会経費の削減が請願の趣旨なら、議員報酬の大幅削減や日当制という方法も検討すべきだという意見もあった。

このような議論の末、本委員会における請願に対する採決の結果は、賛成少数により、不採択とすべきものと決したものである。

議員定数 どう思いますか
各界各層の代表から
ご意見を伺いました

意見交換会でいただき
ましたご意見の一部を
紹介します。

○一生懸命やってくれば定数の話はでてこない。物足りないと思ってる人がいるのでは。

○いつかはしなければならぬなら、見直しをかけた方がよい。

○何を頼むにしても、地区に議員がいないと頼めない。地区に一人の議員は必要。

○ほとんどの町民は、定数は減ってくれというのが正直な意見。

○経済情勢を考えれば、議員を減らさないとけない感じがする。

○議員活動の実態が、実感として町民の中に伝わっていないことが問題。

○任期はもう半年ほど。来年の選挙で公約として聞けばいい。

○請願が経費削減の意味であるなら、議員報酬を減らし、定数を増やして、もっと細かく民意を吸い上げてくれれば町民のためになる。

○民意はどうかといったら、削減した方がいいのではないかとという単純な意見しかない。

○小選挙区にした方が議員もお金が掛からないし、地区の人も自分が選んだ人に活動してもらうのが一番良い。

○合併したばかり。もう一度、議員間の中でしっかり決めるべきだ。議会が混乱するということは逆に行政の足を引っ張ることになる。



皆さんからの 請願

12月定例会では、継続審査となっていた請願2件のほか、新たに1件の請願が提出され、審査の結果を委員長が報告、本会議では次のように決りました。

請 願	請願者	紹介議員	要 旨	結 果
賀原子力発電所プルサーマルを契機とする地域振興に関する請願	志賀町商工協同組合 理事長 石田 克志	越後 敏明 南 政夫 桜井 俊一	①全国を視野に入れた原子力専門員を養成する学校の設立 ②各界各層からなる審議会の設立	不採択 賛成 5 反対 10
請願 志賀町議員定数削減の件	大根 明	久木 拓栄	議員定数の削減	不採択 賛成 6 反対 9
TPP交渉に関する請願について	志賀農業協同組合代表 理事組合長 泉 保治	小田 芳治 下池外巳造 南 政夫	TPP交渉に参加することのないよう政府等関係機関へ意見書の提出	採択 全員賛成 政府に意見書提出

みんなの声を国政に 意見書

2件の意見書が委員会提出議案として出され、採決の結果、全会一致で可決されました。
可決された意見書は、総理大臣、衆参議院議長ほか、担当大臣あてに送付しました。

保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書

要旨 国および政府においては、医療費の総枠を拡大し、患者負担を増大させることなく、保険でより良い歯科医療を確保するため、次の事項について実現されるよう強く要望する。
① 患者の窓口負担を軽減すること。
② 患者が良質な歯科医療を保険で受けられるように制度を改善する

こと。
③ セラミック(陶歯)など、安全で普及している歯科技術は速やかに保険導入すること。

TPP交渉不参加を求める意見書

要旨 TPPは、関税撤廃の例外措置を認めない完全な貿易自由化を目指した交渉であり、ひとつたびTPPを締結すれば、洪水のごとく農産物が輸入され、日本農業を壊滅へと導くことは必定である。
いかに農家所得が補償されても、輸入は増大し、国内の生産基盤は崩壊し、農業・食料・運輸等の関連産業も廃業が相次ぎ、地方の雇用が失われることにも繋がる。
国民の圧倒的多数が望

む食料自給率の向上や農業のもつ多面的機能の発揮は不可能と言わざるを得ない。
わが国の国土と農業を守り、食料安全保障を確立するためにも、わが国がTPP交渉に参加することのないよう強く要望する。



親しまれる議会広報を めざして 新潟県聖籠町議会

せいらうち

11月4日、新潟県聖籠町議会を訪ね、議会広報の取り組みについて研修させていただいた。

聖籠町議会は、全国町村議長会が主催する議会広報コンクールで、毎回上位に入賞する常連の議会である。

多くの入選実績を持つ

議会だけに、基本、技術

ともしっかりしている。

各ページを、それぞれ委員

員が分担して編集を行い、

写真も3人の委員が撮影

している。

早期発刊に努力し、定

例会終了後、30日以内の

発刊を目指している。

インパクトのある見出し

や短い文章で読みやすく

作成しており、各委員

の感性の良さ、能力の高

さが分かる。

全国議長会主催の研修

会に参加するほか、全国

コンクールで最優秀賞を

受賞した議会や印刷会社

で研修しているとのこと

であった。

聖籠町議会の「賞を得

るために広報を作ってい

るわけではないが、広く

町民に読んでもらうため

には、優れた広報を作る

ことは当然」という姿勢

は、当委員会の考えと

まったく同じである。

私たちも今回の研修の

成果を活かし、より良い

議会だよりの作成に取り

組みたいと思う。



聖籠町役場であいさつをする越後委員長。

第7回全国原子力発電所立地市町村議会サミット 原発立地市町村議員が 活発に意見交換

全国の原発を立地する市町村議会議員が一同に会し、国や電力事業者も交えながら、原発の安全と安心を求めて、様々な議論を行うサミットが11月16日、17日の両日、東京都内であり、当町から12名の議員が参加しました。



今サミットのテーマは「我が国における原子力政策・立地地域の安全・安心と振興」である。

サミットは全国から約460人の議員、電気事業者関係者が参加し、基調講演の後、「原子力発電の評価及び今後」、「核燃料サイクルとプルサーマル」など5つのテーマに分かれた分科会に参加し、その後は全体交流会も開催された。

第4分科会では、当議会の田中正文議長が座長を務め、翌日の全体会で分科会報告を行った。



分科会で座長を務める田中議長

サミットは原子力政策に賛成・反対の立場を超えて、議員同士が熱く議論するところに意義を見出している。

閉会式では、「国も国民への働きかけを積極的に行い、立地地域の苦勞が報われる社会を熱望する」との大会宣言をしてサミットを閉会した。

原発立地という共通点があっても、それぞれの地域性によってさまざまな異なる問題があり、とても参考になった。

総務常任委員会

委員長	富澤 軒康
副委員長	林 一夫
委員	戸坂忠寸
〃	小田 芳治
〃	久木 拓栄

市町村振興協会交付金は 地元企業の支援策の検討を



西山台ニュータウンは、現在、全89区画中概ね8割の契約で、内42棟が完成、または建築中。振興協会市町村交付金は、土地購入に対する奨励金に充当される。

質疑 石川県市町村振興協会交付金1500万円の使い道は。また、平成23年度の計画は。

答弁 町の特徴を出せるような使い方をしたい。西山台ニュータウンの土地購入に対する奨励金の財源に充てたい。23年度は、現在、検討中で決定していない。

質疑 交付金は景気対策など町振興事業に対する助成だが、地元企業も経営的に厳しいものがあり、利子補給などの支援策も検討したかどうか。

答弁 検討したい。

質疑 今年から申告会場を2カ所に集約。無料バスで送迎するが、先に申告が終わった人は、帰りのバスまで待たなければいけないのか。

答弁 午前だと、会場へ9時頃到着。9時半に終わるとして、帰りは11時の予定なので、1時間半ほど待つてほしい。

質疑 待ち時間が発生しないような工夫を。

答弁 申告専用バス以外にもコミュニティバスが運行している。1年間やらせていただき、状況を見て検討したい。

教育民生常任委員会

委員長	南 政夫
副委員長	寺岡真貴子
委員	越後 敏明
〃	田中 正文
〃	櫻井 俊一
〃	木村 正男

海岸漂着物地域対策推進事業 具体的な方針は



海岸に大量に漂着する漂着ごみに、沿岸市町はその処理に困窮している。(写真は百浦海岸)

質疑 石川県海岸漂着物地域対策推進事業の具体的な方針は。

答弁 タウンミーティングでも要望がでている。今年度は設計業務だけ入れ札し、事業は来年度に行う。業者に委託することになると思う。

質疑 以前、富来中学校は耐震整備がされていないので、富来高校を県から払い下げてもらえないかとのことだったが、県との話し合いは。

答弁 23年度中にやりたいが、県との打ち合わせがどうなるか分からない。23年度中が無理なら24年度にやりたい。

質疑 介護保険事業費補助金は、どういう事業か。

答弁 介護保険計画は、3年ごとに、高齢者福祉計画と介護保険事業計画の両方を見直しする。1500人程度アンケート調査をする。今後の計画の指針にしたい。

産業建設常任委員会

委員長	下池外巳造
副委員長	須磨 隆正
委員	橋 照茂
〃	松浦 恒義
〃	山本 辰榮
〃	稲村 幸雄

公共下水道のしき鳥方式 結果的にマイナスだったのか



平成 21 年度から汚泥減量化システム「しき鳥方式」の採用を廃止した志賀町中央水処理センター（町地内）

質疑 公共下水道でしき鳥方式を 21 年度で廃止した。通常にやっていた場合としき鳥で経費をかけた場合、結果的にしき鳥はマイナスだったのではないか。

答弁 比較はむずかしい。汚泥の濃度があがってきたときには、対応しきれないということで、しき鳥を撤去している処理場が多いように聞いている。建設した初期の段階では、それなりの効果はあったと思う。

質疑 定住促進住まいづくり奨励金は建設業者に支払うのか。

答弁 町内に新たに住所を定め、定住の意思をもって町内で住宅を取得しようとする人に 50 万円の奨励金が出る。申請は個人がする。

質疑 地元業者に発注すればということだが、町外からの転入者に限るのか。

答弁 町外からの転入者に限る。

生活環境等対策 特別委員会

10月19日

旧羽咋市散弾銃射撃場跡地 汚染土壌対策の取り組みを調査



回収・分別作業の現場を視察する委員。

羽咋市滝谷町地内の旧羽咋市散弾銃射撃場鉛汚染土壌対策の取り組みを調査するため、現地を視察し、羽咋市担当課職員から説明を受けた。

下流域にある坪野区住民の健康被害を生じさせないことを対策方針の第一として、現在、表層の鉛弾の除去、30 cm までの汚染土壌の掘削除去、処分が進められている。

当日は作業現場の回収作業、鉛・濁水処理装置などを確認した。

また、郡市広域圏事務組合新規最終処分場候補地の視察も併せて行い、広域圏事務組合の担当者より、事業計画の説明を受けた。

一般質問に対する結果の提示は町の役目だ

必要に応じて議会に報告している 町長



下池 外巳造 議員



町政一般質問の結果を、町民にお知らせするために議会だよりに掲載している「あの質問のゆくえ」。

下池 年4回の定例会で、多くの議員より町政に対する一般質問が行われている。

私たち議員には、町民に対する説明責任もあり、どのように検討され、どのような方向性になった

かを知る必要がある。検討した結果を議会へ提示するのは町の役目でもある。今後、一般質問に対する結果を、議会に一覧表にして提示してはどうか。

町長 一般質問のあった事業の実施などは、そのほとんどを計画段階や事業実施段階などで必要に応じて、議会に協議や報告をしている。一覧表等での報告については、今のところ考えていない。

障害手帳を得られない難聴児童に 支援の考えは

可能な支援を検討したい 町長

下池 子供の難聴は大変な障害であり、器具自体大変高価な物と聞く。

現在、当町の難聴児童の数はどの程度で、その児童に対し支援をしているのか。

障害手帳を持っている児童、持っていない児童は、どの程度いるのか。

町長 難聴で障害者手帳の交付を受けている児童は、現在、未就学児2名、小学生2名、高校生2名、補聴器購入の際に助成を行っている。また、学校の授業も状況に応じた配慮がされている。

現在、把握している手帳の交付を受けていない児童は、未就学児1名、小学生4名、未就学児は、検診等を

通じて相談に応じており、小学生は、座席の配置を考慮するなどして、普通学級での教育を受けている。

下池 現在、多くの自治体が助成制度の見直しを行っている。

障害手帳が得られない難聴児に対しても、児童という特有の事情を考慮して、助成制度を適用しているようである。当町も、支援の考えはあるか。

町長 手帳を取得できない児童には、障害基準も考慮しながら、可能な支援を検討したい。

下池 高齢者も難聴に苦しむ方が大勢いる。経済的に苦しい人に、難聴児と同様の支援をしていただきたい。

町長 障害者自立支援法の一部改正により、さらに進んだ扶助体制ができつつあり、国の動向を見ながら検討したい。



幼少児は成長に伴って耳穴の形状が変わるのでイヤモールドという補助具も、半年ほどで合わなくなることがあります。



橘 照茂 議員

今年度、町民からの通報による不法投棄は4件で、県や羽咋警察署と連携を取り、告発等の適切

【町長】原則週1回、国道沿い、県・町道、林道、海岸線一帯の巡回を行っている。

不法投棄を発見した時の対処方法、私有地に不法投棄を受けた人への支援策、通報者との連携対策を含め、当町の不法投棄における対策状況と今後の見通しをきく。

橘 今後、ごみ処理の有料化により、安易に不法投棄をする人が増える予想される。

橘 今後、ごみ処理の

不法投棄の対策状況と今後の見通しは 監視体制を充実し迅速に対応 町長



私有地に不法投棄されたごみ。ごみと同時にモラルも捨ててしまったようだ。

橘 今後、ごみ処理の有料化により、安易に不法投棄をする人が増える予想される。

橘 今後、ごみ処理の有料化により、安易に不法投棄をする人が増える予想される。

橘 今後、ごみ処理の有料化により、安易に不法投棄をする人が増える予想される。

橘 今後、ごみ処理の有料化により、安易に不法投棄をする人が増える予想される。

橘 県内の市町では、65歳以上の運転免許証を自主返納した人には、写真付き住民基本台帳カードの交付を行うなど、高齢者が自主返納しやすい環境づくりをしている。

高齢者の運転免許証 自主返納しやすい環境づくりを

先進自治体の状況を参考に検討 町長

【町長】高齢者福祉対策として福祉タクシー券の配布や身体障害者移送サービス等を実施、コミュニティバスは、路線バスとの連携を良くするため、運行ダイヤを改正する。

橘 飲食物や日用品を宅配する民間業者もできた。運転に自信がなくなり、自主返納される人には、公共交通機関や民間との連携で解決できるのではないか。

橘 来年度予算の骨格について、今まで議論してきた内容や行財政改革の取り組みを、どのように盛り込むのか。

その他の質問

橘 昨年、富来地域の一部の地区に、水源補償として町から支出しているのではとの質問に、町長は行政改革の一環として、改善しなければならぬと言った。その後の取り組みは。

橘 今年度、水道料金の統一に伴い、関係4地区の区長と協議して、3地区からは、23年度はこれまでの半分にし、それ以降については、支払わないことで了解を得た。残る1地区にも、支払わない方向で協議している。

橘 町集中改革プランにある具体的な実施内容・数値目標計画に基づき、事務事業を見直し、経費の削減に取り組む。

臨時職員採用試験で面接点数上位者が不採用 面接試験の意義は

面接試験の順位だけで合否判定するものでない

町長



越後 敏明 議員

越後 臨時職員採用の秘密の内部資料で、面接点数上位の若い人が、いずれも不採用で、町外の人が採用されている。
面接試験は募集要件に対して、総合的に考慮しての採点だと思っていたが、面接試験は、どのような意義があるのか。
町長 地方自治法でも規定があるとおおり、職員の任免権は、自治体の長にある。
面接試験は、合否判定にあたっての一つの要素ではあるが、面接試験の順位だけで合否を判定するものではなく、最も適していると考えられる人を採用した。

越後 内部資料流出は、地方公務員の守秘義務違反

反に触れている。
出所不明ならば最高管理者の町長の責任だが、どう責任をとるのか。
町長 試験結果が外部に流出した件については、発覚後、ただちに関係職員に事情聴取を行ったが職員を介しての情報漏えいであるとは確認できなかった。
再発防止策として、職員に機密文書等の取扱いに関する通達を出し、注意を呼びかけている。
今後とも、再発防止に向け、管理監督の徹底に努めていくことが、私の責任である。

越後 タウンミーティング中、質問が活発化した頃に、質問者の発言を封じるような目的で「税金の滞納者は黙れ」といった野次があった。
この野次に呼応するかのよう、町長自らが「税金を納めてください」と発言していた。
これは、町長自らが、個人情報漏えいを公開



町長は、タウンミーティングで、学校は卒業していると答弁した。学位称号販売機関による社会被害問題追及の第一人者である国内の大学教授が、学位は発行されていないと公表した。

しているのと同然だが、いったいどこから個人情報報が漏れているのか。再発防止策はどうなっているのか。
町長 発言した人が誰に對して発した言葉なのか、その人が税金の滞納について具体的な事実を知っていたのか、大変疑問であり、ただちに個人情報報が漏えいしているとは言い難い。
私の発言については、一般的な話として、適切な納税のお願いをしたものである。

学歴詐称報道 成績証明書の提示で疑惑解明を

大学教授には弁護士を通して説明を求めていく

町長

越後 町長は、タウンミーティングで、学校は卒業していると答弁した。学位称号販売機関による社会被害問題追及の第一人者である国内の大学教授が、学位は発行されていないと公表した。
疑惑解決のためにも、成績証明書を提示することが、町長の責務だ。
町長 私は間違いなく卒業している。
このような誹謗中傷により、私の子供にまで被害が及んでおり、許される行為ではない。

ホームページでの掲載内容は大変遺憾だ。
今後、弁護士を通して、大学教授には説明を求めていく。場合によっては、法的措置も視野に入れて対応したい。

越後 それではいつまでたっても疑惑が晴れない。まず成績証明書を提示していただきたい。

町長 弁護士を通して、成績証明書で証明していくことがあれば、していきたいと考えている。

あの質問のゆくえ

今回、「あの質問のゆくえ」として、一般質問の提言などが町政にどのように反映されているのかお知らせします。

質問

西山台ニュータウンを発着するコミュニティバスや路線バスの運行は

平成22年3月定例会 橋 照茂議員

ニュータウンで、予約を申し込みされた方の住宅の建築は、早くも来月から可能になるとのことであり、早ければこの夏には定住される。西山台ニュータウンを発着するコミュニティバスや路線バスの運行はどのようにするのか。

町長答弁

バス停の新設を調整している

コミュニティバスは、ニュータウン内に2か所のバス停の新設することで調整している。新年度には、志賀町地域公共交通会議で協議して、所要の手続きを経て、バス停を新設したい。将来的には路線バスの運行が必要と認識をしている。バス事業者に路線バス運行を要望したい

どうなった

西山台バス停を新設

12月10日から、西山台バス停が新設され、コミュニティバスが発着するようになりました。



質問

今までの保育所適正配置検討委員会の提言と再編計画をどのように認識しているのか

平成21年12月定例会 寺岡 真貴子議員

平成17年2月の保育所適正配置検討委員会の提言と18年度に示された保育所の再編計画をどのように認識し、今後どう扱うか。

町長答弁

保育環境の充実を最優先に

保育所の再編は避けて通れない課題。今後、子どもの保育環境の充実を最優先に考え、対応したい。

どうなった

町保育所適正配置計画書を策定

22年9月に保育所適正配置検討委員会の答申を受け、同年10月、志賀町保育所適正配置計画書が策定されました。

内容については、25年度に加茂、下甘田、上熊野保育所を同時に廃止、26年度にますほ保育所を廃止する計画。

指定管理者制度を導入して公設民営化を推進する計画で、24年度に高浜保育所で導入、とぎ保育園は今後の動向も見極め検討する。

また、統廃合・指定管理者制度の導入によって、軽減される財源や保育士は、保育ニーズに応じた特別保育の拡充や子育て支援の充実に充てるとされています。

23年度に保護者を対象とした説明会を開催する予定となっています。

シリーズ グループ紹介①

志賀町文化協会 よさこい研究会

きらら華小町



砂山 芳子さん(高浜町)

沿道に咲かせます

大輪の華

本場高知のよさこい踊りを見てあこがれ、まずは職場の仲間から、友人知人と声をかけ、かき集めてチームを作ったのが2001年7月。

現在は、発足当初のメンバーは2名のみとなり、チームカラーも変わって来ましたが、早いものでもう10年を過ぎてしまっただようです。

よさこい踊りは、毎年踊る曲が変わり、それと同時に、もちろん衣裳も変わります。

当初は、曲や振り付けを自分達で考え、衣裳も皆で集まって手作りしたことが今では懐かしく、よくやっていたなと思います。

数年前から高知のプロの方に、全てプロデュースしていただいています。曲の中に志賀町の特産品や名所などを必ず入れて、地元の特徴を前面

に出しています。更に最近では、「きらら華小町」のフレーズを入れたところ、どこへ行っても小さいお子様からお

年寄りの方までが一緒に♪きららあ〜きらら〜：はなこまちい〜♪と歌っていただけるようになり、今ではチームの代名詞になっていることを嬉しく実感しています。華小町という名前は、JA志賀で栽培している



踊り好きな方、一緒にやりませんか



フルーツトマトの名前をつけました。

私達のチームの特徴は、なんとと言っても子どもがとっても可愛いんです！特に女性と限定しているわけではありませんが、何故か大人は女性ばかり：：なので、艶しなやかさが売りになっています。

仲間と同じ目的に向かい汗をかく、そしてその喜びや、楽しさ、時には悔しさも、全てを共有する。これってどんな言葉よりも素晴らしい経験だと思いませんか？

私達と一緒にやってみようと思った方、興味を持った方は、ぜひ一度、練習を見に来てください。メンバーになりたい方は、いつでも入会OKです。踊っている自分達が楽しくなければ、見ている人も楽しくない。「楽しく踊ろう」をモットーとし、踊り好きが集まっています。

和倉大会が6月にあり、それに優勝して高知で踊ることを最大の目標とし、毎週月、金曜日に文化ホールで練習しています。

♪きらら〜きらら〜♪
：今年はどうな姿を皆様披露できますか、沿道に咲かせます大輪の華、ご期待ください。

議会広報特別委員会

- 発行責任者
- 議長 田中 正文
 - 委員長 越後 敏明
 - 副委員長 富澤 軒康
 - 委員 橘 照茂
 - 下池外巳造
 - 櫻井 俊一
 - 戸坂忠寸計

発行／志賀町議会 編集／議会広報特別委員会
〒925-0198 石川県羽咋郡志賀町末吉千古1番地1
TEL (0767) 32-1111 FAX (0767) 32-3933